

予防に優る対策なし！

## ★★ インフルエンザから身を守ろう ★★

### ① 早めに受けよう！ インフルエンザワクチン接種

#### ★ 予防接種は感染後の発症・重症化を抑えます

インフルエンザは、

- ① インフルエンザウイルスが鼻や口などから侵入し、
- ② 体内で感染・増殖して1日～3日の潜伏期間を経て、
- ③ 急な発熱、関節痛、全身倦怠感などの症状が出始める

という経過をたどり、発症後、ほとんどの人は1週間程度で回復します。

ただし一部の人で、

④ 脳症や肺炎など入院が必要となるような合併症を引き起こし重症化することがあります。

予防のためにワクチン接種をすれば、インフルエンザに絶対にかからないというわけではありません。しかし、予防接種をすれば人によっては

- ③の発症そのものを抑えたりする効果、
  - ④の合併症による重症化を防ぐ効果、
- が認められています。

重症化しやすい高齢者や持病をお持ちのかたには特におすすめます。

#### ★ 予防効果は、接種した2週間後から5ヵ月。早めの接種を！

インフルエンザワクチンは、その年に予測されるウイルスによって作られます。2017年から2018年冬にかけてのシーズンは、A型2種類、B型2種類が入った4価のワクチンです。

昨年ワクチンを接種したにもかかわらずインフルエンザにかかってしまうと、予防接種の必要はないのではと考えてしまいがちですが、**毎年接種する人のほうが、上記③と④を予防・抑える効果が高いことがわかっている**ので、毎年受けることがすすめられます。

また、予防効果は、接種した2週間後から5ヵ月程度つづきます。

例年1月から2月頃に流行のピークを迎えていますので、流行前の12月中旬までに早めに受けておくと安心です。

接種回数は、13歳以上は通常1回。生後6ヶ月から13歳未満では2回接種（3～4週間の間隔）がすすめられています。